

## 琵琶湖・淀川流域対策に係る研究会（第9回） 議事概要

- 1 開催日時：平成28年1月29日(金) 10:00～12:00  
 2 場 所：関西広域連合 本部事務局 大会議室  
 3 出席者：中村正久委員(副座長)、石田裕子委員、角哲也委員、津野洋委員、  
 中川一委員、嘉田由紀子顧問  
 4 議 事：琵琶湖・淀川流域における全体課題の整理  
 総合的な視点での課題解決の方向性 — 統合的流域管理の可能性

## (1) 琵琶湖・淀川流域における全体課題の整理

- 地下水保全や大阪湾の環境保全など、各委員指摘の追加課題を説明

## (2) 総合的な視点での課題解決の方向性 — 統合的流域管理の可能性

- 琵琶湖・淀川流域の抱える課題および解決の方向性（たたき台）を説明

## (3) 審 議

- 琵琶湖・淀川流域における全体課題の整理について議論がなされた。
  - ・ 環境基本法改正後のキーワードである「地域の健全な水循環」の概念をしっかりと位置付けておくべき。リン枯渇への対応も課題として追記すべき。(津野委員)
  - ・ (水質については)排水を規制するという従前の考えではなく、水循環で考えれば地域での再利用などをきちんと評価できるのではと考えている。(津野委員)
- 総合的な視点での課題解決の方向性について議論がなされた。
  - ・ 流域文化・暮らしのところがまさに横串を刺すところである。シンポジウムでの議論を通じて重層的ガバナンスの具体的な提案が出せると思う。(嘉田顧問)
  - ・ もう一步踏み込んで、水循環や森林・土砂管理など、従来の枠組みで出来てきておらず、今後重点的に進めるべきものを明らかにしていく方がよい。(角委員)
  - ・ 望ましい重層的ガバナンスのあり方とプロセスとを整理したうえで、そのプロセスに対して関西広域連合がどのように貢献できるのかを議論をしていく。(中村副座長・中川一委員)

## (4) 今後の研究会スケジュール

第10回	研究会提言（素案）検討	平成28年3月25日
第11回	研究会提言（案）検討	平成28年6月
連合委員会	報告（研究会提言(案)）	平成28年7月
研究会提言	取りまとめ	平成28年8月

(以上)

## 流域管理シンポジウム ―流域のこれからをみんなで考えるシンポジウム― 議事概要

- 1 開催日時：平成28年1月29日(金) 13:00～17:00
- 2 場 所：大阪国際会議場(グランキューブ大阪) 1001～1002 会議室
- 3 出席者：別紙のとおり。
- 4 来場者数：95名

### (1) 基調講演「琵琶湖・淀川流域の発展とこれからの治水」

(中川博次 京都大学名誉教授, 研究会座長)

- ・ 地域の事情に明るい住民の知恵が不可欠。自治体・民間・NPO・研究機関の連携強化による総合的な対策立案と実施が必要。 ― 地域主導型へ移行

### (2) 特別講演「生態系サービスと流域マネジメント」

(中村正久 滋賀大学環境総合研究センター教授, 研究会副座長)

- ・ 重層的ガバナンスの考え方を中心に、これまでの研究会での議論のレビューとともに、生態系サービスの視点から見た意義について講演

### (3) パネルディスカッション「流域の暮らしと文化、そしてこれから」

(進行：嘉田由紀子 びわこ成蹊スポーツ大学長, 研究会顧問)

- パネリストによる各地での取組事例の報告後、「統合的流域管理」「流域ガバナンス」「民主的ガバナンス」の実現に向けて何が必要かについて議論がなされた。
- ・ “現場で回る”持続可能な社会システムを造ること重要である。有りたい未来を先に見てバックキャストして計画を立てると、ビジネスや活動でも嫌々ではなくワクワクしながら取り組める。(秋葉氏)
- ・ 「私たち」「コミュニティ」「グローバル」の3層で流域ガバナンスを考えれば、流域を「私たち」に落とし込めるのではないか。目指すべきは、「グローバル」を見ながら実践を「私たち」がやる “Think locally, act globally”。(戸田氏)
- ・ 私たちにとって「統合的流域管理」が当たり前の言葉になっていけばいい。例えば、「地産地消」は今では当たり前で、〇〇産と書いていないとみんな無視する。持続可能とは一人ひとりが当たり前と思うこと。(横山氏)

#### 【会場からの意見】

- ・ 流域の問題は生活者に直接かかってくる問題で、市民も井の中の蛙にならず俯瞰することが必要だ。
- ・ 地域に生きる本質は、そこにある地域資源をストックとしてだけで考えるのではなく、持続的な利用のフローを作ることにある。
- ・ 国に対して「淀川の管理権限を関西に移すべきだ」「関西の言うことをそのまま取り入れるべき」と要望されたい。

(以上)

# 地域の個性を活かす流域ガバナンスの実現に向けて

## 琵琶湖・淀川流域対策に係る研究会での議論

### 琵琶湖・淀川流域対策に係る研究会

設置期間 平成 26 年 7 月 ～ 平成 28 年 6 月 2 年間

諮問事項 1) 琵琶湖・淀川流域における課題整理  
2) 流域対策のあり方、統合的流域管理の実現の可能性

研究会委員 石田 裕子 摂南大学 理工学部都市環境工学科 准教授  
角 哲也 京都大学防災研究所社会防災研究部門 教授  
多々納 裕一 京都大学防災研究所水資源環境研究センター 教授  
津野 洋 大阪産業大学人間環境学部 生活環境学科 教授  
中川 一 京都大学防災研究所流域災害研究センター 教授  
座長 中川 博次 京都大学名誉教授  
副座長 中村 正久 滋賀大学 環境総合研究センター 教授  
研究会顧問 嘉田 由紀子 びわこ成蹊スポーツ大学 学長, 前滋賀県知事



#### 検討経過

平成 26 年 8 月 14 日 趣旨説明、研究会の進め方  
9 月 29 日 流域の変遷・取組概要、平成 25 年台風 18 号洪水の概要  
10 月 27 日 構成府県市の取組（治水・防災を中心に）  
平成 27 年 1 月 19 日 主として、治水・防災に関する課題  
4 月 20 日 主として、利水・水質に関する課題  
7 年 27 日 主として、自然環境・流域文化に関する課題  
8 月 31 日 相互関係、生態系サービスの評価（ゲストスピーカー 兵庫県立大学 三橋弘宗 講師）  
10 月 01 日 全体課題、流域ガバナンス（ゲストスピーカー 同志社大学 新川達郎 教授）  
平成 28 年 1 月 29 日 総合的な視点での課題解決 - 統合的流域管理の可能性  
拡大研究会 - 流域のこれからをみんなで考えるシンポジウム

### 琵琶湖・淀川流域の抱える課題および解決の方向性（たたき台）

－ 第 9 回研究会 資料から

#### 課題 琵琶湖・淀川流域において取り組むべき課題

##### 河川整備の着実な実施と総合治水・流域治水の推進

水系一貫の計画的な河川整備 地域特性に応じた流域対応 etc.

##### 利水システムの多重化

代替水源の確保 ネットワークの多重化 雨水・井戸水利用 etc.

##### 地下水の保全

地表水との一体的保全 法的枠組みの構築 etc.

##### 水インフラの老朽化対策

コスト削減 選択と集中 上下水一体管理・広域化・民営化 etc.

##### 流域生態系サービスの総合的な維持・向上

流域自給圏 農林水産業の活性化 グリーンインフラ 自然再生 etc.

##### 総合土砂管理の推進

土砂法の区域指定 流木を考慮した河道計画 土砂の動的平衡 etc.

##### 水の危機管理の強化

新技術・情報の活用 連携強化 施設運用の改善 流域圏外との水融通 etc.

##### 流域文化の個性と繋がり再生

地域の個性と役割の再認識 地域資源を活かした経済活動の自立 etc.

（裏面につづく）

# 地域の個性を活かす流域ガバナンスの実現に向けて

## 琵琶湖・淀川流域対策に係る研究会での議論

琵琶湖・淀川流域の抱える課題および解決の方向性（たたき台）

－ 第9回研究会 資料から

### 方向性 地域の個性を活かす流域ガバナンスの実現に向けて － 統合的流域管理の実現の可能性

#### 統合的な流域管理の必要性

- … 課題解決には、行政界を越えた流域単位の視点、行政分野を横断した複眼的な視点が必要
- … 流域に暮らす人々の共通認識・相互理解、主体的参画が統合的な流域管理の原動力

#### 流域管理の目標

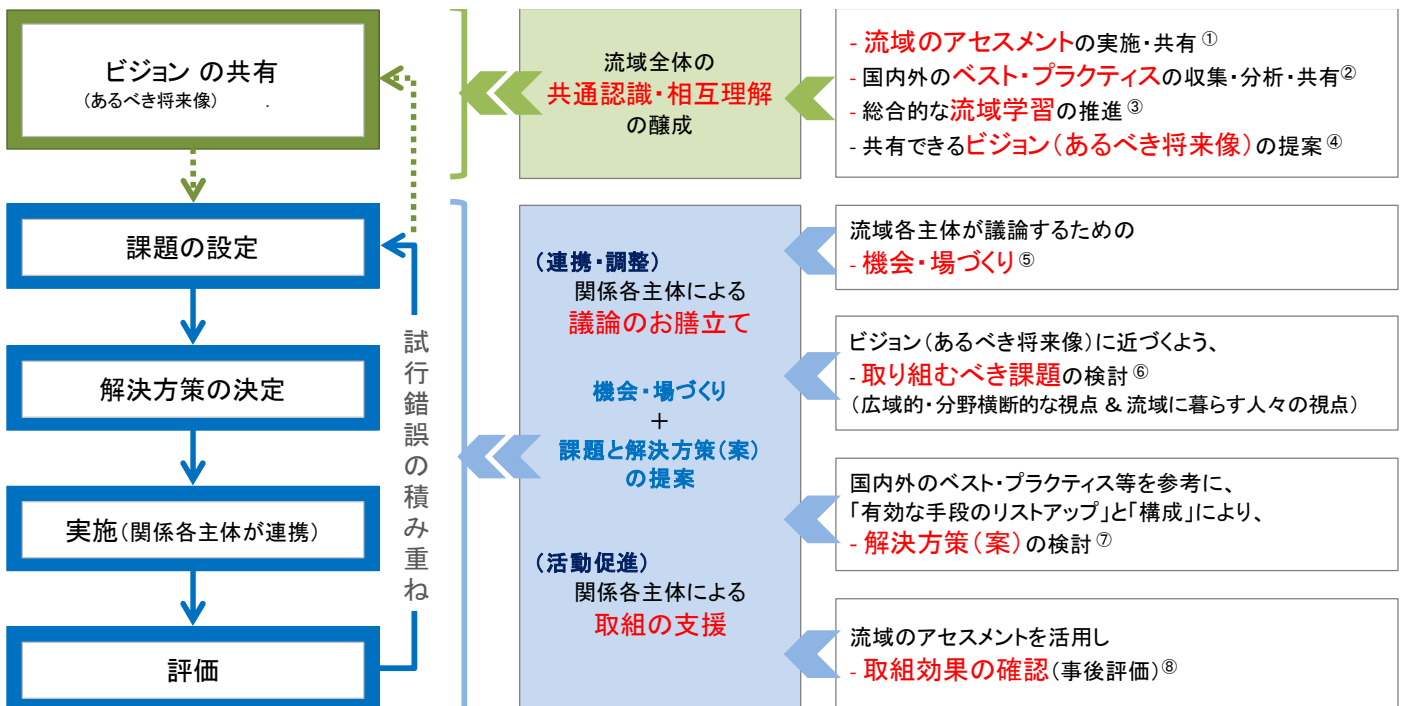
- … 流域圏をひとつの単位として、生態系サービスの総合的な維持・向上を図りながら、水に起因するさまざまなリスクを軽減するとともに、持続可能な水利用を実現することによって、将来にわたって圏内住民ひとりひとりが享受する福利を最大化

#### 望ましい流域管理のあり方 － 重層的ガバナンス

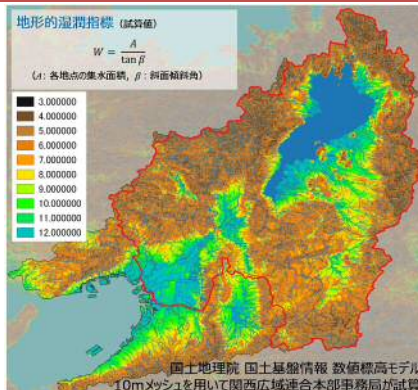
- … 流域住民、NPO、事業者、市町村・府県・国の各部局といった流域各主体の連携・協調を基本
- … さまざまな課題に対して臨機応変に関係各主体が集まり議論し、試行錯誤を経て意思決定できる重層的ガバナンス

#### 流域管理のプロセス

#### 関西広域連合の果たし得る役割?? －「連携・調整」「活動促進」



- ①流域のアセスメント － だれでも使える共通のものさし
- …公開データとシミュレーション技術を活用し、流域のさまざまな状態（各種リスクや生態系サービス）について、流域全体を地先レベルで定量評価。
  - …自治会・学区・市町村・府県・流域圏など任意の範囲で集計でき、さまざまな立場から比較衡量、取組効果の確認も可能。
  - …流域各主体、特に流域で暮らす人々の共通認識・相互理解の醸成のためのひとつのツール。
  - …課題の因果関係や便益の帰着構造の分析にも。



- ②ベスト・プラクティス － 課題解決のヒント
- …国内外から参考となる広域的・分野横断的な先進事例を収集。
  - …成功要因と適用可能性を分析、流域各主体が使いやすい状態にして共有。
- ③流域学習 － 流域ガバナンスの担い手育て
- …さまざまな世代、主体に属する人々が、幅広い視点から流域を学ぶツール、機会を提供。
  - …流域で暮らす人々、事業者、研究機関、行政各局が双方向で学びあうことが重要。



参加無料  
定員  
200名

# 流域のこれからを みんなで考えるシンポジウム

総参加の流域ガバナンス — 琵琶湖・淀川流域対策に係る研究会 拡大研究会

雨水は、山々から田んぼやまちを流れ、琵琶湖やたくさんの川を経て、  
やがて淀川にあつまり、大阪湾に流れてゆきます。  
私たちは遠い昔から、流域を巡る水が育む生態系サービス、つまり自然の恵みを受けながら、  
そして時に水がもたらす災いをやり過ぎしながら、  
さまざまな社会・経済活動を営み、暮らしを支えてきました。

けれど今、恵みをもたらす自然の力は少しずつ失われてきています。  
そして、人口減少や気候変動の時代を迎えています。

このシンポジウムでは、このさきもずっと流域の恵みを絶やさず、災いをやり過ぎ、  
暮らしを守っていくためにどんなことができるのか、みんなで考えていきます。

日時 平成28年 **1月29日** (金) 13:00~16:30

会場 大阪府立国際会議場 10階 1001~1002 会議室  
(大阪市北区中之島 5-3-51)

基調講演 **琵琶湖・淀川流域の発展とこれからの治水**  
中川 博次 京都大学名誉教授、琵琶湖・淀川流域対策に係る研究会 座長

特別講演 **生態系サービスと流域マネジメント**  
中村 正久 滋賀大学環境総合研究センター教授、琵琶湖・淀川流域対策に係る研究会 副座長

パネルディスカッション **流域の暮らしと文化、そしてこれから**



進行  
**嘉田 由紀子**  
びわこ成蹊スポーツ大学 学長  
前滋賀県知事  
琵琶湖・淀川流域対策に係る研究会 顧問

パネリスト  
**秋葉(中川) 芳江 さん**  
Office SPES 代表  
京都市ソーシャルイノベーション研究所

**横山 あおい さん**  
(有)エイライン 代表  
NPO 法人と自然とまちづくりと 理事長

**戸田 香 さん**  
神戸大学大学院法学研究科(政治学) 博士後期課程  
朝日放送(株) 総合ビジネス局

**山口 美知子 さん**  
東近江市役所 森と水政策課

主催 関西広域連合

## シンポジウム 参加申込書

ふりがな 氏 名	
団体名	
住 所	
連絡先	Tel: _____ Email: _____

※ ご記入いただいた情報は、本シンポジウムの実施以外の目的には一切利用いたしません。

### 申込方法

参加希望の方は、上記申込書に記入のうえ FAX にてお申込みいただくか、同じ項目をご記入いただいた電子メールにてお申込みください。

### 申込締切

平成 28 年 1 月 27 日 (水)

※ 定員になり次第締め切ります。その場合にはご連絡させていただきますので、ご了承ください。

### 申込宛先

関西広域連合 本部事務局 国出先機関対策プロジェクトチーム (問い合わせ Tel: 06-4803-5674)

Fax: 06-6445-8540 Email: [biwako-yodogawa@kouiki-kansai.jp](mailto:biwako-yodogawa@kouiki-kansai.jp)

## プログラム

13:00~13:05	開会挨拶			
13:05~14:05	基調講演	琵琶湖・淀川流域の発展とこれからの治水	中川 博次	京都大学名誉教授
14:05~14:45	特別講演	生態系サービスと流域マネジメント	中村 正久	滋賀大学教授
14:45~15:00	(休憩)			
15:00~16:30	パネルディスカッション	流域の暮らしと文化、 そしてこれから	進行 嘉田 由紀子	びわこ成蹊スポーツ大学学長 前滋賀県知事

※出演者、プログラム等は、予告なく変更する場合がございますので予めご了承ください。

## 大阪府立国際会議場（グランキューブ大阪） アクセス



### 所在地

〒530-0005 大阪市北区中之島 5-3-51

### 電車でお越しの場合

- ・京阪電車中之島線「中之島（大阪国際会議場）駅」(2番出口)すぐ
- ・JR大阪環状線「福島駅」から徒歩約15分
- ・JR東西線「新福島駅」(3番出口)から徒歩約10分
- ・阪神本線「福島駅」(3番出口)から徒歩約10分
- ・大阪市営地下鉄「阿波座駅」(中央線1号出口・千日前線9号出口)から徒歩約15分

※ シャトルバスが、「リーガロイヤルホテル」とJR「大阪駅」桜橋口の間で運行されており、ご利用いただけます(定員28名)

※ お車でご来場された場合は、1時間あたり500円の駐車料金が別途かかります。